

2007年8月期業績 及び2008年8月期業績見通し

吉高 信

株式会社ファーストリテイリング
執行役員 CFO

1

執行役員CFOの吉高です。

私からは、2007年8月期業績、及び
2008年8月期業績見通しについてご説明をします。

I. 2007年8月期決算概要	P3	~	P15
II. 2008年8月期業績予想	P16	~	P23
III. ご参考資料	P24	~	P28

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりとなっております。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：英国、米国、中国、香港、韓国、フランスにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことで、ジーユー、ワンゾーン、キャビン、アスベジ・ジャパン、持分法適用関連会社であるビューカンパニーが含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)のことで、FRフランス(コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業など)、持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスが含まれています。

【連結】 2007年8月期 実績

売上高 : 5,252億円 (前期比+17.0%)
 営業利益 : 649億円 (前期比 7.7%)
 経常利益 : 646億円 (前期比 11.7%)

単位: 億円

	2006年8月期		2007年8月期		
	実績	直近予想 (7/12修正)	実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	4,488 100.0%	5,351 100.0%	5,252 100.0%	+ 17.0%	1.9%
売上総利益 (売上比)	2,124 47.3%	2,539 47.5%	2,483 47.3%	+ 16.9% 0.0p	2.2%
販管費 (売上比)	1,420 31.7%	1,818 34.0%	1,834 34.9%	+ 29.1% + 3.2p	+ 0.9%
営業利益 (売上比)	703 15.7%	721 13.5%	649 12.4%	7.7% 3.3p	10.0%
経常利益 (売上比)	731 16.3%	707 13.2%	646 12.3%	11.7% 4.0p	8.7%
当期純利益 (売上比)	404 9.0%	368 6.9%	317 6.1%	21.4% 2.9p	13.7%

3

まず、2007年8月期の連結業績についてご説明します。

通期では売上高は5,252億円、前期比17.0%増、
 営業利益は649億円、前期比7.7%減、
 経常利益は646億円、前期比11.7%減の
 増収減益の結果となりました。

次のスライドでその要因をご説明します。

【連結】 増収減益の要因

売上高 5,252億円 (前期比 +17.0%)

国内ユニクロ事業 おもに新規出店による売上増 +311億円

連結子会社増加 キャビン+217億円、ジーユー +35億円

海外ユニクロ事業 +82億円 **グローバルブランド事業** +139億円

売上高総利益率 47.3% (前期比 0.0p)

国内ユニクロ事業の売上高総利益率の低下 1.1p

売上高総利益率の高いグローバルブランド事業などグループ会社が寄与

売上高販管費率 34.9% (前期比 +3.2p)

国内ユニクロ事業 +145億円 **連結子会社増加** +178億円

のれん償却 +31億円

営業利益率 12.4% (前期比 3.3p)

経常利益率 12.3% (前期比 4.0p)

4

まず売上高は5,252億円と額にして763億円、率にして17.0%の増収となりました。

増収の主な要因は、国内ユニクロ事業が311億円の増収になったこと、今期から連結を開始したキャビンが217億円、ジーユーが35億円、海外ユニクロ事業の増収82億円、グローバルブランド事業の増収139億円の寄与によります。

売上高総利益率は、国内ユニクロ事業において前期比1.1ポイント低下いたしました。売上高総利益率の比較的高いグローバルブランド事業などグループ会社が寄与し、47.3%と前期比でほぼ横ばいとなりました。

販管費は、前期比で413億円増えております。このうち、国内ユニクロ事業の経費増が145億円、キャビン、ジーユーなど連結対象会社が増えたことによるものが178億円です。

のれん償却は42億円と、前期比で31億円増加しております。

これらの結果営業利益は53億円減少、7.7%の減となり、売上高営業利益率は12.4%と前期比で3.3ポイント低下いたしました。

単位：億円

		2006年8月期		2007年8月期		
		実績	直近予想 (7/12修正)	実績	前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	3,936	4,355	4,247	+ 7.9%	2.5%
	営業損益 (売上比)	688 17.5%	712 16.3%	640 15.1%	7.1% 2.4p	10.1%
海外ユニクロ事業	売上高	87	167	169	+ 94.5%	+ 1.8%
	営業損益 (売上比)	14	10	11	-	-
国内関連事業	売上高	222	476	460	+ 107.0%	3.2%
	営業損益 (売上比)	8	30	35	-	-
グローバルブランド事業	売上高	228	345	367	+ 60.6%	+ 6.5%
	営業損益 (売上比)	46 20.3%	66 19.1%	72 19.6%	+ 55.0% 0.7p	+ 9.2%

5

こちらのスライドでは、各グループ事業別の売上高、営業利益を示しております。

まず、国内ユニクロ事業ですが、売上高が7.9%増となりましたが、営業利益が7.1%減となりました。

海外ユニクロ事業の売上高はほぼ倍増し、赤字幅も縮小いたしました。

国内関連事業にはキャビン、ジーユー、ワンゾーン、アスペジ・ジャパンの業績数値が含まれております。

キャビンとジーユーが新規連結されたことで売上高は倍増したものの、営業損失額は拡大しております。

グローバルブランド事業には、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業などが含まれております。

プリンセス タム・タム事業が通年で連結されたこと、コントワー・デ・コトニエ事業が順調に推移したことにより、グローバルブランド事業は増収・増益となっております。

単位：億円

	2006年8月期 実績	直近予想 (7/12修正)	2007年8月期		
			実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	3,936 100.0%	4,355 100.0%	4,247 100.0%	+ 7.9%	2.5%
売上総利益 (売上比)	1,829 46.5%	1,992 45.7%	1,926 45.4%	+ 5.3% 1.1p	3.3%
販管費 (売上比)	1,140 29.0%	1,280 29.4%	1,286 30.3%	+ 12.7% + 1.3p	+ 0.4%
営業利益 (売上比)	688 17.5%	712 16.3%	640 15.1%	7.1% 2.4p	10.1%

(注) 国内ユニクロ事業の業績は、2007年8月期より㈱ユニクロの数値を開示しています。この数値と対応させるため、2006年8月期の㈱ユニクロの実績値は、2005年9月から2005年10月の2ヶ月間の旧㈱ファーストリテイリング単体の実績に、2005年11月以降の㈱ユニクロの実績を加算しております。(2006年10月12日発表の決算スライドに掲載しておりました国内ユニクロ事業の社内管理数値には、2005年8月期との比較のため、持株会社である㈱ファーストリテイリングの販管費が含まれています) ㈱ユニクロの2006年8月期業績数値については、本説明スライド28番をご参照ください。

6

次に、国内ユニクロ事業について、詳しくご説明いたします。

2007年8月期の国内ユニクロ事業の売上高は4,247億円、前期比7.9%増、営業利益は640億円、前期比7.1%減の増収減益となりました。

上期は、売上高総利益率が低下したことによって減益となりました。

下期は、売上高総利益率のコントロールを進めた結果、第3四半期ではほぼ計画通りの売上高、利益を達成することができました。しかしながら、第4四半期では天候不順の影響などにより売上が計画未達となり、通期でも減益という結果となりました。

売上高 4,247億円 (前期比 +7.9%)

- ユニクロ直営店 前年同期比27店舗増 (2007年8月末730店舗)
- 既存店売上高 前期比 +1.4% (06/8期実績 +0.7%)
 - 客数 前期比 0.2% 下期、天候不順により夏物商戦が不振
 - 客単価 前期比 +1.5% 一品単価が比較的高いボトムスなどが好調

前年比増減率		2007年8月期		
		上期	下期	通期
既存店計	売上高	+2.9%	0.6%	+1.4%
	客数	+2.7%	3.5%	0.2%
	客単価	+0.2%	+3.0%	+1.5%

FC店 18店舗を除く

7

国内ユニクロ事業の売上高ですが、通期で7.9%の増収となりました。増収の要因は、直営の店舗数が前期比で27店舗増加したこと、既存店売上高が前期比で1.4%増加したことです。

既存店売上高1.4%増収の内訳としては、客数がマイナス0.2%、客単価がプラス1.5%となっております。

期末の直営店舗数は大型店21店舗を含む75店舗の出店、48店舗の閉店により27店舗純増となり、期末店舗数は730店舗となっております。

客数の減少は、主に天候不順により7月以降の夏物商戦が振るわなかったことなどの影響によるものです。

また、客単価は前期比で1.5%上昇しておりますが、この理由としては通年でジーンズをはじめとするボトムスなど、比較的一品単価の高い商品が好調だったことがあげられます。

売上高総利益率 45.4% (前期比 1.1p)

	2006年8月期	2007年8月期	
			前期比
通期	46.5%	45.4%	1.1p
上期	46.5%	44.5%	2.0p
下期	46.4%	46.4%	+ 0.0p

2007年8月期の売上高総利益率は前期比で1.1ポイント低下しましたが、これは、上期の粗利益率が、暖冬により冬物在庫処分が増えたことで前期比2.0ポイントと低下した影響が大きかったと考えております。

下期は上期の反省を踏まえ、生産と販売のバランスを調整する数値管理機能を強化したことで、売上高総利益率のコントロールを図りました。

この結果、第3四半期の売上高総利益率はほぼ計画通りとなりました。

しかし、第4四半期では、特に7月以降の夏物販売が振るわず、8月に夏物処分を進めたこと、秋物の立ち上がりが遅れたこと、8月はポイントカード廃止最終月の駆け込みがあったことなどにより、下期の売上高総利益率は計画に対して約1ポイント下回り、ほぼ前年並みという結果となりました。

【国内ユニクロ事業】 販管費

売上高販管費率 30.3% (前期比+1.3p)

人件費率 +0.7ポイント: 採用拡大・求人費増、地域限定正社員増

広告宣伝費率 +0.2ポイント: チラシ、電波料の増加

賃借料率 +0.2ポイント: SC、都心ビルイン型店舗出店に伴う家賃比率増

	2006年8月期		2007年8月期		増減額	
	実績	(売上比)	実績	(売上比)		(売上比)
販管費	1,140	29.0%	1,286	30.3%	+145	+1.3p
内 人件費	415	10.6%	478	11.3%	+62	+0.7p
内 広告宣伝費	189	4.8%	210	5.0%	+21	+0.2p
内 賃借料	290	7.4%	320	7.6%	+30	+0.2p
内 減価償却費	19	0.5%	21	0.5%	+2	+0.0p
内 その他	225	5.7%	254	6.0%	+28	+0.3p

単位: 億円

(注) 2006年8月期の㈱ユニクロの実績値は、2005年9月から2005年10月の2ヶ月間の旧㈱ファーストリテイリング単体の実績に、2005年11月以降の㈱ユニクロの実績を加算しております。(2006年10月12日発表の決算スライドに掲載しておりました国内ユニクロ事業の社内管理数値には、2005年8月期との比較のため、持株会社である㈱ファーストリテイリングの販管費が含まれています)

国内ユニクロ事業の販管費は1,286億円、前期比で145億円増加しておりますが、これはおおむね計画通りの結果となっております。

ただし、下期では売上高が計画に対し108億円下回ったことから、販管費比率は前期比で1.3ポイントの上昇となっております。

売上高に対する人件費比率は0.7ポイント増となりました。採用の拡大、求人費増、下期からの地域限定正社員化などによる増加です。

また、売上高広告宣伝費比率は0.2ポイント上昇しております。これは、チラシ、電波料が増加したことによるものです。なお、第4四半期で経費が上ぶれておりますが、これは、チラシを大きくするなど、広告宣伝費で数億円の追加費用をかけたことによります。

賃借料率は0.2ポイント上昇していますが、これは、ショッピングセンター、都心ビル型店舗の出店が増えた影響によります。

なお、持ち株会社へのロイヤルティ等の支払い期間が10ヶ月から12ヶ月となったことで、その他の経費比率も上昇しております。

旗艦店・大型店戦略に転換、ブランド力を強化

米国 ニューヨークのグローバル旗艦店は成功

英国 2007年11月オープン予定のグローバル旗艦店のコストが先行

アジア 中国・香港・韓国は順調に拡大

単位: 億円

		2006年8月期		2007年8月期		
		実績	直近予想 (7/12修正)	実績	前期比	直近予想比
海外ユニクロ事業	売上高	87	167	169	+ 94.5%	+ 1.8%
	営業損益 (売上比)	14	10	11	-	-

海外ユニクロ事業の数値には、英国、米国、中国、香港、韓国、フランスにおけるユニクロ事業の数値が含まれています。

10

次に海外ユニクロ事業ですが、売上高は87億円から169億円と大幅増となり、赤字幅も縮小しています。

米国、英国では旗艦店関連のコストにより赤字となっていますが、アジア各国では売上高は倍増し、黒字を達成しています。

個別の子会社の実績につきましては、添付のスライド24をご参照ください。

まず、米国ユニクロですが、2006年11月にニューヨークにオープンしたグローバル旗艦店は春・夏シーズンも順調な売上を達成し、ユニクロのブランド力を米国市場で高めることができました。

その結果、2007年8月期の業績は、ほぼ計画通りとなりました。

尚、ニュージャージーのショッピングモールに出店した3店舗は期末までにすべて閉店しております。

英国ユニクロは2007年11月、オックスフォードストリートにオープン予定のグローバル旗艦店の出店経費が先行していることから、前年に比べて、赤字幅が拡大しました。

中国、韓国、香港の業績はきわめて順調です。

それぞれの地域で売上高をほぼ倍増させることが出来たほか、利益面でも黒字を達成しております。

特に香港の黒字幅が7億円と好調な業績が続いております。

経営改革を推進

キャビン ユニクロの強みを活かし、経営改革を推進

ジーユー 50店舗を出店、ウィメンズ部門を強化

ワンゾーン 店舗オペレーションの標準化、自社企画商品の強化

単位：億円

	2006年8月期 実績	2007年8月期			
		直近予想 (7/12修正)	実績	前期比	直近予想比
国内関連事業	222	476	460	+ 107.0%	3.2%
売上高	8	30	35	-	-
営業損益 (売上比)					

- 国内関連事業の売上高、営業利益には、キャビン、ジーユー、ワンゾーン、アスベジ・ジャパンの数値が含まれています。
- 持分法適用関連会社である、ビューカンパニーについては、営業外損益として、「持分法による投資損益(06/12～07/8)」 1.7億円を計上しています。

11

次に国内関連事業については、売上高は
倍増となりましたが、赤字幅は拡大しております。

キャビンではユニクロのSPAとしての強みを生かし、
経営改革をすすめてまいりました。

2007年8月期の実績につきましては、夏物商戦がふるわず、
若干の赤字となっております。

新規事業のジーユーにつきましては、50店舗を出店し、
事業基盤の確立を図っております。

下期はウィメンズの構成比を高めるなどの商品構成の見直し、
人件費などのコスト削減を実施いたしました。

しかし、まだ「ジーユー」の知名度が低いことから、
1店舗あたりの売上が伸びず、14億円の営業損失となっております。

ワンゾーンは店舗オペレーションの標準化、自社企画商品の
強化などを進めてまいりましたが、残念ながら、
下期も売上げを回復することができず、赤字が続いております。

ヨーロッパ全域、アジアでの出店を加速

コントワー・デ・コトニエ事業は3割強の増収を達成

- ・ 直営店 前年同期比61店舗増 (2007年8月末305店舗)
- ・ 既存店売上高 前期比 13%

プリンセス タム・タム事業は1割強の増収と順調な拡大続く

単位: 億円

		2006年8月期		2007年8月期		
		実績	直近予想 (7/12修正)	実績	前期比	直近予想比
グローバルブランド事業	売上高	228	345	367	+ 60.6%	+ 6.5%
	営業損益	46	66	72	+ 55.0%	+ 9.2%
	(売上比)	20.3%	19.1%	19.6%	0.7p	+ 0.5p

- 1 グローバルブランド事業の売上高、営業利益には、FRフランス(コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業など)の数値が含まれています。
- 2 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、「持分法に¹²による投資損益(06/9~07/8)」 19.0億円を計上しています。

グローバルブランド事業は順調に拡大しております。

コントワー・デ・コトニエ事業は、3割強の増収となり、計画を上回る売上、利益を達成することができました。

直営の店舗数は61店舗増え、通期の既存店増収率はユーロベースで13%増と、拡大基調が続いております。

また、プリンセス タム・タム事業も既存店で売上高11%の増収を達成しております。

特別利益 + 19億円

キャビン 固定資産売却益	+ 14億円
ワンゾーン 店舗敷金保証金 貸倒引当金戻入	+ 2億円

特別損失 37億円

固定資産除却損、店舗閉店損失 (国内ユニクロ、キャビン等)	11億円
店舗資産の減損損失 (ワンゾーン、キャビン、米国ユニクロ)	14億円
ビューカンパニー株式減損にともなうのれん一括償却	6億円

13

2007年8月期の特別損益については、
特別利益19億円、特別損失37億円を計上しています。

特別利益の内訳は、キャビンの固定資産売却益14億円、
ワンゾーンの店舗敷金・保証金に対する貸倒引当金の戻入2億円などです。

特別損失の内訳は、
ユニクロやキャビンなどの退店やリニューアルに伴う除却損11億円、
ワンゾーン、キャビン、米国ユニクロにおける店舗資産の減損損失14億円、
ビューカンパニーの株式減損にともなうのれんの一括償却6億円などです。

単位：億円

	2006年8月末	2007年8月末	増 減
総資産	3,796	3,597	198
流動資産	2,503	2,179	323
固定資産	1,293	1,417	+124
負債	1,391	1,164	226
純資産	2,404	2,432	+28

14

次に連結のバランスシートのご説明をさせていただきます。

2006年8月末との比較では、
流動資産が323億円減少し、固定資産が124億円増えた結果、
全体の総資産は198億円減少して3,597億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

現金・預金及び有価証券の減少 278億円 (1,471億円 1,193億円)

- 【FR】 キャビンの株式取得 131億円、 ビューカンパニーの株式取得 22億円
- 法人税等の支払い増 188億円

たな卸資産の増加 +123億円 (428億円 551億円)

- 【国内ユニクロ事業】 +89億円 【海外ユニクロ事業】 +23億円
- 【ジーユー】 新規連結 +7億円

有形固定資産の増加 +74億円 (298億円 373億円)

- 【国内ユニクロ事業】店舗増など +26億円 【海外ユニクロ】店舗増など +37億円

まず、流動資産ですが、
 現預金及び有価証券の合計額は、前期末比で278億円減少しております。
 この要因としましては、キャビンの株式取得による131億円、
 ビューカンパニーの株式取得による22億円、法人税等の支払い増188億円
 があります。

たな卸資産は、前期末比では123億円増加しております。
 国内ユニクロで89億円増加しているほか、
 海外ユニクロにおいて英国、米国を中心に合計で23億円増加したこと、
 及びジーユーを新規に連結対象としたことによるものです。

有形固定資産は、前期末比で74億円増加しております。
 国内ユニクロで出店の増加などに伴い26億円増加したほか、
 海外ユニクロにおいても出店の増加などにより、37億円増加しています。
 海外ユニクロにおける主な内訳は、英国において22億円、
 米国において10億円の増加です。

【連結】 2008年8月期 業績予想

単位：億円

	2007年 8月期実績	2008年8月期	
		予想	前期比
売上高 (売上比)	5,252 100.0%	5,700 100.0%	+ 8.5%
売上総利益 (売上比)	2,483 47.3%	2,736 48.0%	+ 10.2% (+ 0.7p)
販管費 (売上比)	1,834 34.9%	2,008 35.2%	+ 9.5% (+ 0.3p)
営業利益 (売上比)	649 12.4%	728 12.8%	+ 12.1% (+ 0.4p)
経常利益 (売上比)	646 12.3%	728 12.8%	+ 12.8% (+ 0.5p)
特別損益 (売上比)	18 -	15 -	- -
当期純利益 (売上比)	317 6.1%	388 6.8%	+ 22.1% (+ 0.7p)

(注) 【連結】 2008年8月期通期 予想：設備投資額 200億円、減価償却費 80億円

16

ここからは、2008年8月期業績予想についてご説明します。
 連結の通期業績については、売上高5,700億円、前期比8.5%増、
 経常利益は728億円、前期比12.8%増、
 当期純利益は388億円、前期比22.1%増を予想しております。

単位: 億円

		2007年8月期		2008年8月期	
		実績		予想	前期比
国内ユニクロ事業	売上高	4,247		4,480	+ 5.5%
	営業損益 (売上比)	640 15.1%		710 15.8%	+ 10.9% + 0.7p
海外ユニクロ事業	売上高	169		300	+ 76.5%
	営業損益 (売上比)	11		4	-
国内関連事業	売上高	460		470	+ 2.1%
	営業損益 (売上比)	35		17	-
グローバルブランド事業	売上高	367		430	+ 16.4%
	営業損益 (売上比)	72 19.5%		74 17.3%	+ 3.2% 2.2p

17

次に、グループ事業別の業績予想についてお話しします。

グループ経営を推進するにあたり、
グループ事業別に業績を管理していること、
また、子会社の数も増えていることから、今回よりグループ
子会社別ではなく、グループ事業別に予想数値・実績を開示
させていただきます。

国内ユニクロ事業は増収増益の計画です。

海外ユニクロ事業では7割強の増収と赤字幅の縮小を予想しております。

国内関連事業では、個々の企業の収益改善を図り、
赤字幅の縮小を見込んでおります。

グローバルブランド事業では、引き続き
増収、増益を予想しています。

なお、のれんの償却は、キャピンの完全子会社化により4億円増加し、
通期で46億円を予定しております。

売上高総利益率、経費をコントロール

単位：億円

	2007年	2008年8月期通期	
	8月期 実績	予想	前期比
売上高 (売上比)	4,247 100.0%	4,480 100.0%	+ 5.5%
売上総利益 (売上比)	1,926 45.4%	2,048 45.7%	+ 6.3% (+ 0.3p)
販管費 (売上比)	1,286 30.3%	1,338 29.9%	+ 4.0% (- 0.4p)
営業利益 (売上比)	640 15.1%	710 15.8%	+ 10.9% (+ 0.7p)

株式会社ユニクロの数値を表示しております。

18

まず、国内ユニクロ事業の2008年8月期の業績予想ですが、売上高4,480億円、前期比5.5%増、営業利益は710億円、前期比10.9%増を見込んでいます。

売上高総利益率、経費率を改善し、増収増益を達成する計画です。

	2007年8月期			2008年8月期			前期比		
	実績			予想					
売上高	4,247 億円			4,480 億円			+5.5%		
既存店伸び率									
通期	+1.4%			1.0%			2.4p		
上期	+2.9%			1.9%			4.8p		
下期	0.6%			+0.2%			+0.8p		
売上高総利益率									
通期	45.4%			45.7%			+0.3p		
上期	44.5%			45.5%			+1.0p		
下期	46.4%			46.0%			0.4p		
出退店数(直営店)	出店	退店	純増	出店	退店	純増	出店	退店	純増
通期	75	48	+27	84	47	+37	+9	1	+10
大型店	21	0	+21	40	0	+40	+19	0	+19
標準店等	52	47	+5	40	47	7	12	0	12
専門店	2	1	+1	4	0	+4	+2	1	+3
上期	38	28	+10	32	22	+10	6	6	0
大型店	10	0	+10	10	0	+10	+0	0	0
標準店等	28	28	+0	20	22	2	8	6	2
専門店	0	0	+0	2	0	+2	+2	0	+2
下期	37	20	+17	52	25	+27	+15	+5	+10
大型店	11	0	11	30	0	+30	+19	0	+19
標準店等	24	19	+5	20	25	5	4	+6	10
専門店	2	1	+1	2	0	+2	0	1	+1

ユニクロ直営店出店数のうち、標準店等にエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。専門店には、19 ウィメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

国内ユニクロ事業の業績予想の前提としては、既存店売上高の伸び率につき、上期は、前年上期の増収率が2.9%と高かったことからマイナス1.9%、下期はプラス0.2%、通期で1.0%のマイナスを予想しております。

直営店は通期で37店舗の純増を予定しております。

ひきつづき、商業施設を中心に大型店の出店をすすめ、スクラップ&ビルドを通じて大型化していきます。

また、売上高総利益率は通期で45.7%と、前期比0.3ポイントの改善を見込んでおります。

上期は、販売と生産の連動を強め、値引率をコントロールすることで、前期比プラス1.0ポイントの改善を見込んでいます。

下期は、前年の下期に厳格な粗利益率の管理をおこない

売上を落としたという反省から、今下期は、

売上とのバランスをとる適正水準として、

前期比で0.4ポイントの低下を見込んでおります。

海外ユニクロ事業は旗艦店戦略を継続

英国 グローバル旗艦店により、ブランド認知を高める

米国 ニューヨーク、グローバル旗艦店の店舗貢献利益を黒字化

中国・香港 増収増益を維持

韓国 積極的な出店により売上高は倍増、営業利益は前期並み

単位：億円

		2007年8月期		2008年8月期	
		実績	予想	前期比	
海外ユニクロ事業	売上高	169	300	+76.5%	
	営業損益 (売上比)	11	4	-	

海外ユニクロの数値には、英国、米国、中国、香港、韓国、フランスにおけるユニクロ事業の数値が含まれています。

20

海外ユニクロ事業の今期の業績は売上高300億円、前期比76%増、赤字幅は11億円から4億円への縮小を予想しています。

英国ユニクロは2007年11月7日、ロンドンにグローバル旗艦店のオープンを予定しており、ブランド認知を高める方針です。旗艦店と同時に大型店をオープンすることから、売上高はほぼ倍増、赤字幅は出店コスト増により若干拡大の見込みです。

米国ユニクロでは、ソーホーのグローバル旗艦店の店舗貢献利益は黒字化する計画ですが、本部経費を含め数億円の赤字の見込みです。

中国においては、北京・上海で6店舗、香港で3店舗の出店を予定しております。北京・上海エリアでは、大型店によりブランドの認知を強化するとともに、香港の成功事例をいかながら、購買意欲の高い中国のお客様にユニクロブランドをあらためて訴求していく計画です。

韓国においては、大型店を含む6店舗の出店を予定しており、売上高はほぼ倍増の予定ですが、出店コストにより営業利益はほぼ前期並みの見込みです。

また、12月初旬にはフランス、パリのラ・デファンスにアンテナショップのオープンを予定しており、グローバル旗艦店オープンに向けての、準備を開始します。

早期の収益改善が課題

キャビン 高効率経営により、黒字化をめざす

ジーユー グループ力を活かしたPRを展開し、営業損失を半減

ワンゾーン スクラップ&ビルドを進め、収益体質を改善

単位：億円

		2007年8月期	2008年8月期	
		実績	予想	前期比
国内関連事業	売上高	460	470	+2.1%
	営業損益 (売上比)	35	17	-

- 国内関連事業の売上高、営業利益には、キャビン、ジーユー、ワンゾーン、アスペジ・ジャパンの数値が含まれています。
- 持分法適用関連会社であるビューカンパニーについては、営業外収益として、「持分法による投資利益(07/9～08/8)」につき0.0億円の計上を予想しています。

21

次に国内関連事業ですが、売上高は470億円、営業損失17億円を見込んでおります。

キャビンは今期からブランド統廃合を含めた抜本的な改革に着手する予定であり、今期で黒字化をめざします。

ジーユーは50店舗の規模を維持しながら店舗の認知度を高めるPRを展開し、1店舗あたりの売上の拡大を図ります。

営業損失は、前期から半減させることを見込んでおります。

ワンゾーンは本部のスリム化と同時に不採算店のスクラップ&ビルドを進め、収益体質を改善させていきたいと考えています。

グローバル化をさらに加速

コントワー・デ・コトニエ事業はEU圏内へ40店舗出店
プリンセス タム・タム事業はフランス市場での基盤を強化

単位：億円

		2007年8月期	2008年8月期	
		実績	予想	前期比
グローバルブランド事業	売上高	367	430	+ 16.4%
	営業損益	72	74	+ 3.2%
	(売上比)	19.5%	17.3%	2.2p

- 1 グローバルブランド事業の売上高、営業利益には、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業などの数値が含まれています。
- 2 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外収益として、「持分法による投資利益(07/9～08/8)」0.2億円の計上を予想しています。

22

グローバルブランド事業ですが、

コントワー・デ・コトニエ事業は
スペイン、英国、イタリア、ベルギーなどEU圏内へ40店舗出店し、
1割程度の増収を達成する計画です。

また、プリンセス タム・タム事業もフランス市場での基盤を強化し、
順調な売上を予想しております。

なお、リンク・セオリー・ホールディングスに関しては、持分法による
投資利益0.2億円を営業外収益として見込んでいます。

【配当金】

2007年8月期 年間配当金 130円を予定
 2008年8月期 年間配当金 130円を予想

	2007年8月期			2008年8月期(予想)		
		中間	期末 ¹		中間	期末
1株配当金	130円	70円	60円	130円	65円	65円

- 1 2007年8月期末配当金は、2007年11月5日開催予定の当社取締役会での決議を前提としています。
- 2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、年間配当金についてご説明させていただきます。

2007年8月期の期末配当金は一株あたり60円とし、年間で130円、前期と同水準とさせて頂く予定です。

2008年8月期の配当金につきましては、連結の当期利益の3分の1程度を配当するという従来の方針に基づき、年間130円を予定しております。

なお、ご参考資料として、各グループ会社の実績、2008年2月中間期業績予想、ならびに、出退店の一覧表を添付しておりますので、ご参照ください。

以上をもちまして、私からのご説明を終わります。

ありがとうございました。

【事業別】 グループ事業別損益

単位：億円

	国内ユニクロ事業		国内ユニクロ事業計						
	2006	2007	2006	2007	2008予				
売上高	3,936	4,247	3,936 4,247 4,480						
営業損益	688	640	688 640 710						
	UNIQLO (U.K.)		UNIQLO USA		UNIQLO FRANCE	海外ユニクロ事業計			
	2006	2007	2006	2007	2007	2006	2007	2008予	
売上高	27	38	7	34	0	87 169 300			
営業損益	1	6	13	14	1	14 11 4			
	FRJS+FRCN		UNIQLO H.K.		FRL Korea				
	2006	2007	2006	2007	2006	2007			
売上高	15	26	11	27	24	43			
営業損益	0	1	2	7	1	2			
	キャピン		ジーユー		ワンゾーン		国内関連事業計		
	2007		2007		2006	2007	2006	2007	2008予
売上高	217		35		214	200	222 460 470		
営業損益	2		14		7	16	8 35 17		
	FRフランス					グローバルブランド事業計			
	2006	2007				2006	2007	2008予	
売上高	228	367				228 367 430			
営業損益	46	72				46 72 74			

為替レート 2006年8月期実績 1USD = 117.33円 1 EURO = 150.51円 1 GBP = 223.49円
 2007年8月期実績 1USD = 119.10円 1 EURO = 157.85円 1 GBP = 234.11円

2008年8月期予想 1USD = 115円 1 EURO = 160円 1 GBP = 240円

持分法適用関連会社の「持分法による投資損益」は連結の営業外損益として計上しています。

リンク・セオリーHD 2007年8月期実績 19.0億円 2008年8月期予想 0.2億円
 ビューカンパニー 2007年8月期実績 1.7億円 2008年8月期予想 0.0億円

単位: 億円

	2007年2月		2008年2月	
	中間期実績		中間期予想	前期比
売上高 (売上比)	2,841 100.0%		3,043 100.0%	+ 7.1%
売上総利益 (売上比)	1,316 46.3%		1,450 47.7%	+ 10.2% + 1.3p
販管費 (売上比)	884 31.1%		991 32.6%	+ 12.0% + 1.4p
営業利益 (売上比)	431 15.2%		459 15.1%	+ 6.4% 0.1p
経常利益 (売上比)	426 15.0%		460 15.1%	+ 8.0% + 0.1p
特別損益 (売上比)	0 + 0.0%		10 -	- -
当期純利益 (売上比)	226 8.0%		248 8.2%	+ 9.5% + 0.2p

単位：億円

	2007年2月 中間期実績	2008年2月中間期	
		予想	前期比
売上高 (売上比)	2,342 100.0%	2,430 100.0%	+ 3.7%
売上総利益 (売上比)	1,043 44.5%	1,105 45.5%	+ 5.9% + 0.9p
販管費 (売上比)	635 27.1%	682 28.1%	+ 7.2% + 0.9p
営業利益 (売上比)	407 17.4%	423 17.4%	+ 3.8% + 0.0p

株式会社ユニクロの数値を表示しております。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	06年8月	2007年8月期			2008年8月期				
	期末	通期 実績			通期 予想				
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	750	92	55	+37	787	103	48	+55	842
国内ユニクロ事業:	720	76	48	+28	748	85	47	+38	786
直営店	703	75	48	+27	730	84	47	+37	767
大型店	7	21	0	+21	28	40	0	+40	68
標準店等	687	52	47	+5	692	40	47	7	685
専門店	9	2	1	+1	10	4	0	+4	14
FC	17	1	0	+1	18	1	0	+1	19
海外ユニクロ事業:	30	16	7	+9	39	18	1	+17	56
英国:	8	4	1	+3	11	2	0	+2	13
中国:	7	2	0	+2	9	6	1	+5	14
米国:	4	3	6	3	1	0	0	0	1
韓国:	10	4	0	+4	14	6	0	+6	20
香港:	1	3	0	+3	4	3	0	+3	7
フランス:	-	-	-	-	-	1	0	+1	1
ジーユー事業	-	50	0	+50	50	7	0	+7	57
ワンソーン事業	330	21	19	+2	332	20	30	10	322
コトワー・デ・コトニエ事業	244	64	3	+61	305	49	3	+46	351
プリンセス タム・タム事業	100	33	2	+31	131	22	0	+22	153
キャビン事業	201	28	18	+10	211	10	10	0	211
アスベジ事業	7	5	0	+5	12	0	1	1	11
総 合 計	1,632	293	97	+196	1,828	211	92	+119	1,947

ユニクロ直営店のうち、標準店等にはエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。
また専門店には、ウィメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

株式会社ユニクロ 2006年8月期 実績

単位: 億円

	2006年8月期 株式会社ユニクロ 実績			
	第1四半期	中間期	第3四半期	通期
売上高 (売上比)	1,094 100.0%	2,146 100.0%	919 100.0%	3,936 100.0%
売上総利益 (売上比)	517 47.3%	998 46.5%	440 47.9%	1,829 46.5%
販管費 (売上比)	288 26.4%	566 26.4%	283 30.8%	1,140 29.0%
営業利益 (売上比)	229 21.0%	432 20.1%	157 17.1%	688 17.5%